

西根

交通マナーもバスケもルール守ります



コートで熱戦を繰り広げる選手たち

スポーツを通して児童たちの健全育成を図ろうと、北岩手交通安全協会ミニバスケットボール大会は12月9日、市総合運動公園体育館で行われました。

大会には、男子の部2チーム、女子の部6チームが出場。市内から、西根バスケットボール少年団の男子1チーム、女子2チームが参加しました。熱戦の結果、女子の部で西根Bが準優勝、西根Aが3位に入賞しました。

選挙啓発ポスターコンクールで金銀銅

平成18年度明るい選挙啓発ポスターコンクルールの表彰式は11月28日、岩手県庁で行われ、高等学校の部で平舘高校1年の遠藤遥さんが最優秀賞を受賞しました。

これは、明るい選挙を通じた政治で、国民の生活を豊かで美しいものにしようと、毎年行われているものです。

市内では、遠藤さんのほか、同高1年の畠山聡美さんが優秀賞、寄木小6年の小野寺美花さんが佳作を受賞しました。



遠藤さんの最優秀賞作品(写真左)と畠山さんの優秀賞作品

八幡平市

縄文をキーワードにしたすごろく完成



縄文街道双六で遊びながら、北東北の伝統や文化、自然などを楽しく学ぶ児童たち

特定非営利活動法人風景の生命を守る地域づくりネットワーク(田村麗丘代表理事)は、北東北3県に残る縄文文化や自然を巡る縄文街道すごろくを制作しました。

すごろくは「未知の国道中・縄文街道双六」と名付け、1900部を作成。裏面は北東北の道路絵図になっています。升目には遺跡などが描かれ、解説書とサイコロ、コマで1セット。解説書には縄文街道の概要や伝説などを掲載し、漆文化や縄文遺跡、環状列石、自然遺産などのテーマ別になっていて、旅行ガイドブックとしても活用できます。

すごろくは、同ネットワークが縄文街道と位置付ける、本市から青森市を結ぶ国道282号と国道7号のエリア約160kmを、24の升目で紹介。北上川水運の最上流とされる大更地区の「大瀬の夫婦サイカチの木」が振り出しです。秋田県鹿角市の大湯環状列石などを経由し、青森県の三内丸山遺跡が上がりになります。

升目のイラストは、同法人理事で大更出身の漫画家小田ひで次さんが担当。小田さんの描くキャラクターは、かわいらしく親しみやすいのが特長です。縄文時代から形成されてきた地域の自然や文化のロマンを描きました。

縄文をキーワードに地域イメージの定着と、北東北3県の広域観光を促すすごろくは、有料で配布しています。詳しくは、田村代表理事(☎090-5592-3872)まで。

安代地区で開催される東日本バイアスロン競技大会などの各種スキー大会支援協定を結ぶ調印式は12月8日、陸上自衛隊岩手駐屯地で行われました。

これは、市スキー大会実行委員会が大会運営を円滑に進めようと毎年、自衛隊に協力を求めているものです。自衛隊は、会場やコース整備などの人的協力のほか、選手がけがをした場合の応急救護なども担っています。



田村正彦市長(写真左)と小林茂岩手駐屯地司令

円滑な大会運営目指して自衛隊と調印



箱根八里の半次郎を披露する荒木田老人クラブ

市老人クラブ芸能発表会は11月30日、西根地区市民センターで開かれました。

この発表会は西根、松尾、安代3地区の老人クラブ会員の交流を深めようと、初めて行われたものです。

当日は、歌や踊りを楽しみにした、約350人の会員が会場に集合。21団体が自慢の芸33演目を披露しました。出演者は、はつらつとした歌声や舞で会員を楽しませ、会場は笑いと拍手に包まれました。

踊って笑って、市老人クラブ芸能発表会

患者の回復を願ってクリスマス会開催

国保西根病院のクリスマス会は12月21日、同病院で行われ、入院・通院患者など約50人が参加しました。

クリスマス会は、患者の早期回復を願い、幸せが訪れるようにと毎年開催されているものです。

職員がキャンドルサービスで入場し、クリスマス会の始まりです。幻想的な雰囲気の中、ホワイトクリスマスの曲

が流れ、参加者の気分を盛り上げました。

次はいよいよ、余興タイムです。今年は、ボランティアサークル「ノースブルーム」が琴やフルートで「古時計」などの演奏をプレゼント。サンタクロースにふんした嶋信院長を先頭に、病院職員が「赤鼻のトナカイ」「きよしこのよる」を合唱し、楽しいひとときを過ごしました。



琴やフルートを使って、楽しい演奏をプレゼントしたボランティアサークル「ノースブルーム」の皆さん

安代

曲田横間消防団が創立60周年を迎える



曲田消防会館前で顕彰碑が除幕されました

曲田横間地域自治消防団は創立60周年を迎え、12月2日曲田公民館で記念式典を行いました。式典に先立ち、第32分団屯所前で田村正彦市長、鈴木俊一衆議院議員などが顕彰碑を除幕。碑には、田村市長が書いた「郷土愛護」の文字が刻まれています。

この分団は、昭和22年9月に荒沢村消防団第6分団として発足。合併後は、市消防団第32分団として、地域防災の最前線で活躍しています。

目名市地区コミュニティセンター完成

目名市地区コミュニティセンターの完成記念式典は12月2日に行われ、地区民など80人が出席し、新たな地域交流拠点の完成を祝いました。

この施設は、宝くじ受託事業収入を財源にした自治総合センターのコミュニティセンター助成事業を活用。地域交流の活性化などを目的に1500万円の助成を受けました。建設費は約2560万円で、木造平屋建ての総床面積は234平方メートルあります。



センターの完成を祝い記念式典が行われました

「家族」をテーマに「ふる株」第9回公演

安代地区を中心に活動する市民劇団「ふるさと発信株式会社」の第9回公演は12月3日、安代若者センターで開かれました。

今回の演目は「ザ・シェルター」。家庭用核シェルターの實用実験のため、3日間シェルター内で暮らすことになった家族の物語です。

父親役を立花浩さん、妻役を石羽根裕美さん、祖父役を佐藤新さん、娘役を安代小学

校6年の高村明花さんが演じました。

核シェルターの実験を承諾した家族は、突然の機械の故障でシェルター内に閉じ込められるはめに。閉ざされた空間で、家族4人が思い出を語り合い、ふれあう様子を演じ、親子の会話の大切さについて表現しました。

同劇団は今回、発足以来初めてとなる、昼と夜の2回公演を行っています。

今回の公演「ザ・シェルター」は家族の会話や、きずなをテーマにした物語です

松尾

2007八幡平ゆきまつりがスタート

2007八幡平ゆきまつりのオープニングセレモニーは12月22日、八幡平温泉郷で行われました。

このまつりは、今年で4回目。たくさんのお客や市民に冬の八幡平を楽しんでもらおうと3月まで開催しているものです。

セレモニーでは、柏台保育所の園児がかわいらしい踊り



柏台保育所の園児たちが、きねとうすでもちつきを楽しみました



鏡割りでゆきまつりの開幕を祝いました

と歌を披露。鏡割りやもちつきでゆきまつりの開幕を祝ったほか、体が温まるホロホロ鳥汁が振る舞われました。

日本一大きな雪上滑り台や雪像コンテスト、花火大会などの多彩なイベントを開催するゆきまつりは2月17日(土)、18日(日)、八幡平リゾートパノラマスキー場入口付近の会場で開催します。

会場付近のイルミネーションは、毎晩9時まで(3月下旬まで予定点灯しています)。ゆきまつりや期間中のイベント情報について詳しくは、八幡平市観光協会(☎78-3500)まで。

巨大ツリーに手作りサンタ人形を飾る

松尾八幡平物産館・アスビーテは12月6日、柏台保育所の全園児を招き、クリスマスツリーの飾り付けを行いました。

ツリーは高さ約2メートルあるモミの木を準備。園児たちは、紙と松ぼっくりで手作りした、かわいいサンタクロースの人形などを飾り付けました。たくさんさんの飾りで彩られたツリーにスイッチを入れると、電飾がきれいに輝き、園児たちを喜ばせました。



ツリーに手作りのサンタ人形や星などを飾る園児たち

助け合いの心を込めて歌や踊りを披露



趣向を凝らした踊りを披露する出演者

恵まれない人たちに義援金を贈ろうと、松尾地区婦人会歳末助け合い演芸会は12月3日、松尾地区体育館で開かれました。

演芸会は収益金の一部を幅広く福祉に活用してもらおうと、昭和53年から毎年行われているものです。会場には、年の瀬を前に歌や踊りで楽しもうと約200人が参加。各支部婦人会が趣向を凝らした歌や踊り29演目を披露し、訪れた人々を楽しませました。